

校舎等の消毒について

◆ 消毒する箇所

教室・トイレなど児童生徒等が利用する場所のうち、特に多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアの取手、手すり、スイッチなど）。

◆ 薬品の種類

- アルコール消毒液
- 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬 例：ハイターやブリーチ等）

アルコール消毒液を使用する際の注意点

ペーパータオルやティッシュなど使い捨てが可能なもの等に十分に消毒液を含ませ清掃を行う。

次亜塩素酸ナトリウムを使用する際の注意点

《作り方》 塩素濃度 **0.05～0.5%** の希釈液を作成する。（目安となる濃度は **0.05%** です）

製品濃度	原液の量	水量	希釈液の塩素濃度
5%	2.5 mL（漂白剤のキャップ約 1 杯）	2 L	約 0.06%
6%	2.5 mL（漂白剤のキャップ約 1 杯）	3 L	約 0.05%
6%	1.2～1.3 mL（漂白剤のキャップ約 1/2 杯）	1 L	約 0.08%

【計算式】 製品濃度% × 原液の量 ÷ 水量 = 塩素濃度

《使用時の注意》

- ・製品の取扱いの注意を必ず確認してから使用する。
- ・十分に換気をおこない、ゴム手袋やマスク等の呼吸器を覆うものを着用の上使用する。
- ・ペーパータオルや使い捨て可能な布等に十分に消毒液を含ませ清掃を行った後、水拭きを行う。金属腐食性があるため、金属部分を消毒する際は特に注意してふき取る。
- ・作り置きは効果が低下します。なるべく使用直前に作ったものを使用する。
※ 作った消毒液を一時的に保管する場合は、誤って飲むことがないように、消毒液であることを、はっきり明記して、児童生徒等が触れない場所かつ、日光の当たらない場所で保管すること。
- ・他の薬品と絶対に混ぜない。混ぜたものによっては有毒ガスが発生します。
- ・手指消毒としては絶対に使用しない。ものに付着したウイルスの消毒用として使用する。